

関西医療大学大学院 保健医療学研究科を修了する学生に求めるコンピテンシー

保健医療学研究科のディプロマ・ポリシー 〔修了認定・学位授与に関する方針〕

保健医療に関する学術理論と研究方法・技術を修得し、以下に示した資質・能力を身につけていること。

1. 保健医療分野の専門職としての高い倫理観に基づく実践力
2. 保健医療分野のリーダーとしての論理的思考力と問題発見・解決力
3. 保健医療分野のリーダーとしての責任感と主体的行動力
4. 保健医療分野の専門領域の発展に貢献できる研究力

保健医療学研究科が学生に求めるコンピテンシー

①	倫理に基づく行動力	医療人として高い倫理観に価値を置いて行動することができる
②	専門知識	保健医療学に関する体系化された高度な知識を駆使できる
③	専門技術	保健医療学専門職として有すべき高度な技術を駆使し実践できる
④	情報処理力	必要な情報を広く、深く継続的に収集して、新たな保健医療学に活用できる
⑤	課題探求力	保健医療学に先進的な科学的な知識を取り入れることができる
⑥	論理的思考力	必要な情報を科学的に思考し、新たな保健医療学を創造できる
⑦	問題解決力	課題を正しく理解し、対策を講じてその結果を検証し、次に反映させることができる
⑧	自己研鑽力	深い専門知識に基づき、臨床現場の問題解決のために推論することができる

本学大学院では、2年間の授業科目全体を「共通教育科目（基礎医学と臨床医学における科学的知識を幅広く学ぶ科目）」、「専門教育科目（高度専門職業人に必要な知識と技術を学ぶ科目）」、「特別研究科目（研究の基礎能力を習得するための修士論文作成をおこなう科目）」に分けて、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」に基づいて体系的に編成したカリキュラムのもとで教育を行っている。また、保健医療学研究科では「修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」に基づき、学生が修了するまでの学びの過程において身につけることを期待する8つのコンピテンシー（行動特性、能力）を定めている。学生は、1つ1つの授業科目を学年ごとに履修しながら、この8つのコンピテンシーの修得を積み重ねることで、修了時には本学のディプロマ・ポリシーに相応しい学修成果を身につけ、“社会に役立つ”医療人・研究者として活躍することを目指す。

保健医療学研究科のカリキュラム・科目履修で身につけるコンピテンシー

(※対応する上位2つのコンピテンシー番号を記載)

区分	1年次配当科目				2年次配当科目			
	前期		後期		前期		後期	
共通教育科目	①②	保健医療学概論 疫学・保健統計学概論	①②	医療倫理学概論				
専門教育科目(基礎領域)	②⑤	生体情報学	②⑤	機能形態学 ②⑥ 病態情報学	②⑤	教育学概論 ②⑥ 教育学特論		
	②⑤	内科系病態学 I ②⑤ 高次神経病態学 ②⑤ 外科系病態学	②⑤	内科系病態学 II				
	②⑤	東洋医学	②⑤	補完・代替医療学				
			③⑧	臨床鍼灸学実習	②④	臨床鍼灸学研究計画法 ②⑥ 臨床鍼灸学研究方法論 ②⑥ 臨床鍼灸学特論講義 ②⑦ 臨床鍼灸学特論演習		
専門教育科目(専門領域)			③⑧	臨床身体機能学実習	②④	臨床身体機能学研究計画法 ②⑥ 臨床身体機能学研究方法論 ②⑥ 臨床身体機能学特論講義 ②⑦ 臨床身体機能学特論演習		
					②④	医科学研究計画法 ②⑥ 医科学研究方法論 ②⑥ 医科学特論講義 ②⑦ 医科学特論演習 I ②⑦ 医科学特論演習 II		
特別研究	⑦⑧	特別研究						